希望の鐘

宇部市立見初小学校
令和２年１１月２４日

児童数
９７人
(11/24現在)

＜学校教育目標＞
さわやかに、かしこく、たくましく未来を拓く見初っ子の育成

心に響く言葉や体験

校長　藤田康伸

１１月１５日（日）見初地区人権教育推進大会において、本校の６年生　木村叶華さんが人権作文の朗読を行いました。「差別やいじめのない暮らし」と題して、新型コロナウイルス感染症について**「世の中が不安な時期だからこそ、私たちは病気のことをよく理解し、互いを思いやり、冷静に考えて行動することが大切だ。」**という思いやインターネットの活用で気を付けること等、差別やいじめのない暮らしについて訴えました。

学校代表として、大変立派な発表であるとともに、最終学年として心の成長も感じられ、うれしく思いました。そして、こうした子どもたちの成長には、**学校・家庭・地域での体験や取組が、子どもたちの心に響いている**ことを改めて感じました。

５年生　綿部優月さんは宿泊学習の「お礼の手紙」の中で、心に響いたことを次のように述べています。

「私は宿泊学習で成長したと思います。最後の森のチャレンジでご指導いただいた先生の言葉が心に響きました。**『何のときでも目標を決めてあきらめず、目標にたどりついたら、それ以上できることはないか考える』**私も今度からそうしたいです。」（一部抜粋）

森のチャレンジコース

活動の疲れがある中で、メモがあるわけでもなく、指導者の言葉をしっかりと心にとめていたことに感心しました。

指導者の話の中では**「たとえ目標を達成できなくても、どこまでやるか、目標を自分で決め、目標に向かって挑戦したことがすばらしいんだよ。」**という熱い思いが静かに語られ、子どもたちも自分のチャレンジを思い出しながら、真剣に話に耳を傾けていました。

指導者のお話

本校では「地域で学び、地域に学び、そして多くの魅力的な人に学ぶ」というコミュニティ・スクールの機能を生かした教育活動を進めていますが、これからも、**こうした指導者や地域の方に子どもたちが触れる機会を設け、様々な体験活動等を通して、子どもたちの豊かな心を育てていきたい**と思います。

校訓（昭和５年制定）
進取労作
質実剛健
醇風美俗

チャレンジ目標【２０２０年度】
- ☆ だまってすみずみまで掃除をしよう！
- ☆ 一人ひとりがふわふわ言葉を使おう
- ☆ 自分から元気にあいさつをしよう

◎ 見初っ子宣言 ◎
みんなで思い合い、
めざせ笑顔１００％
いじめ０％